

平成19年度 入札監視委員会審議概要

中国四国防衛局

開催日及び場所	平成20年3月19日(水) 広島合同庁舎4号館共用第9号会議室	
委員	中川 郁夫(委員長/税理士) 神野 智文(財団法人客員研究員) 土田 孝(大学教授) 森嶋 久雄(不動産鑑定士) 那須野 徳次郎(委員長代理/弁護士):欠席	
審議対象期間	平成19年10月1日 ~ 平成19年12月28日	
審議対象件数	59件	
【報告事項】 1. 入札・契約状況について 2. 談合疑義案件の処理状況について 3. 低入札事案について 4. 不調事案について 5. 指名停止等の措置状況について		
1. 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)		
抽出件数	9件	(審議概要)
建設	一般競争(政府調達協定対象)	1. 応札者が少ない事案について 2. 高落札率、低落札率の事案について 3. 低入札価格調査について
設	一般競争(政府調達協定対象外)	
工	指名競争	
事	随意契約	
建設コンサルタント業務等	4件	
	意見・質問	回答
委員からの意見・質問	【対象案件】 事案抽出は、落札率が高く、入札参加者が少ない事案を中心に抽出した。 建設工事 【一般競争入札方式】 《防府南(19)保管施設新設土木その他工事》 落札率: 99.60% 応札者: 1者	本件の資格要件に該当する者が防府市内、山口県内にも多数おり、資格要件が厳しいとは考えていない。 本年度の防府地区発注工事はこの
それに対する回答等	・入札参加者が1社しかいないが資格要件が厳しいのではないかと。 ・また、分離して発注せず一	

<p>委員からの 意見・質問</p> <p>それに対する 回答等</p>	<p>括して発注しているので参加者が少ないのではないか。 また、工種が多岐にわたっているのが影響しているのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利益率が悪いのではないか。 ・周辺の工事でも入札参加者が1社のものがあるのか。 ・予定価格は事前に公表しているのか。 ・事前に公表されているのであれば、参加者を絞る形での談合が考えられなくもないが、本件では該当しないようだ。 工事自体は単純な工事なのか。 ・資格要件該当者が市内に多数いるとのことだが。 <p>業務 【公募・簡略審査型指名競争入札方式】 《岩国飛行場（19）滑走路移設飛行場地区雨水排水施設設計》 落札率：39.33% 応札者：4者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計にしては大きな金額なのでは。 ・この落札業者は、同種の設計経験があるのか。 <p>低入札価格調査を行う場合には、業者はどのような反応を示すのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕様書が簡単すぎるような気がするが。 	<p>1件しかなく、工事毎に分割して発注した場合、工種によっては規模が小さくなると考えた。</p> <p>一括発注としたことで、スケールメリットが出ているものと考えている。</p> <p>本年度の防府南地区発注工事はこの1件のみ。</p> <p>公表していない。契約締結後に公表する。</p> <p>主はコンクリート舗装であり、通常の舗装業者では施工が難しいと思われる。</p> <p>舗装の資格と実績を持っている業者は多数いるがこれらの業者が全て本件工事を施工可能と云う訳ではない。本件はコンクリート舗装工事としては規模が大きく、業者が限定されたのかもしれない。</p> <p>飛行場全体の表面の排水設計であり、面積が非常に大きいため金額も大きくなっている。</p> <p>実績が多数有るようだ。</p> <p>殆ど全ての業者が、「えっ、この価格で低入札なのか。」といった驚きの反応を示す場合が多い。</p> <p>岩国飛行場はまだ埋立中の新規の飛行場であり建造物がなく、既存の飛行場と比べ、設計にあたっての制約が少ないこと、既に実施済みの基本検討を参考にすることが可能であることなどから、このような仕様書となった。</p>
--	--	---

<p>委員からの 意見・質問</p> <p>それに対する 回答等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・設計は工事と異なり契約額の殆どが人件費だから、業者は入札価格を低く抑え易いのか。 <p style="text-align: center;">建設工事</p> <p>【一般競争入札方式】 《見島（１９）体育館増改修建築その他工事》 落札率：９９．６２％ 応札者：１者（参加者２者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうして応札者がいないのか。 ・資材を運ぶ手段はあるのか。 ・離島と云うことで、積算上の割増しがあるのか。 <p style="text-align: center;">建設工事</p> <p>【一般競争入札方式】 《１術校（１９）診療所耐震補強工事》 落札率：９７．４７％ 応札者：１者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震補強の資格要件に該当する業者は多数いるのか。 ・ランクはどれ位か。 ・耐震工事の発注は多いのか。 ・なぜ入札参加業者が少ないのか。 <p style="text-align: center;">建設工事</p> <p>【公募型指名競争入札方式】 《徳島（１９）保管庫新設建築その他工事》 落札率：９９．９２％ 応札者：１者（参加者：２者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札参加者が辞退した際、理由を確認するのか。 	<p>そのように思われる。</p> <p>離島のためと考えられる。萩の沖合約50kmの離島です。</p> <p>請負者は船をチャーターすることになる。</p> <p>積算において船賃は計上しているが、離島を理由にした割増しは行っていない。</p> <p>広島県内でも耐震補強の資格に該当する業者は多数おり、これに大規模改修工事の施工実績でも参加可能としているので、かなりの数の業者が参加可能であったと思われる。</p> <p>金額的には「C」になるが、特殊な工事でもあり「C以上」としている。</p> <p>本年度はこの１件のみである。</p> <p>資格要件が厳しいとは考えていないが、本件工事場所が江田島と云う島嶼部にあることが影響しているのではないかとと思われる。</p> <p>不調となる場合には確認しているが、落札した場合は確認していない。</p>
--	--	---

<p>委員からの 意見・質問</p> <p>それに対する 回答等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回目の入札で落札率99%以上となっている。何度も入札を繰り返した上で99%以上ならわかるが、2回目で99%は少し不自然な気がする。 ・再度の入札を行おうとする際、入札参加者への説明は行っているのか。 ・安保事案は参加者が少ないのか。 <p>業務 【公募・簡略審査型指名競争入札方式】 《広他(19)管理棟等建築構造検証》 落札率：99.73% 応札者：3者(参加者：4者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計も基準書のようなものがあるか。 <p>建設工事 【一般競争入札方式】 《広(19)ユーティリティー(468)整備設備工事》 落札率：99.05% 応札者：2者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備工事は、入札参加者が少ないのか。 ・指名競争入札から一般競争入札になって入札参加者は減ったか。 ・一般競争入札にして競争性を高めても、結果的に入札参加者が減っているということか。 ・WTO事案の参加者が多いのは、公告を見ているからではないか。 ・本件の様な場合、管工事と電気工事を分けて発注してはどうか。 	<p>本件については、落札後に確認をとった結果、「再計算に必要な日数をいただき、可能な限りきりつめた結果である。」とのことであった。</p> <p>当方の積算の考え方、採用した単価は何処のものか等について説明している。</p> <p>当省実績の有無だけの差であり、安保だから少ないわけではないと思う。</p> <p>官庁施設の設計業務等積算基準に基づいて行っている。</p> <p>少ない傾向にある。管工事の資格でも、電気工事の資格でも参加可能としたのだが2者しか応募がなかった。</p> <p>明らかに減っている。</p> <p>資格要件が厳しすぎるため参加業者が少なくなることはないよう、資格要件設定にあたっては注意を払っている。ただ、WTO事案に限っては入札参加希望者が多い傾向にある。</p> <p>入札参加者が少ない地区の入札にあたっては、業界団体、協会等へ公告している旨を通知する等周知に努めている。</p> <p>発注ロットが小さくなることで、逆に入札参加者が減少することも考えられる。本件は、スケールメリットを活かせるよう発注ロットを大きくして発注した。</p>
--	--	---

<p>委員からの 意見・質問</p> <p>それに対する 回答等</p>	<p>業務 【公募・簡略審査型指名競争入札方式】 《美保（委任）（19）滑走路延長設備調査設計》 落札率：95.37% 応札者：3者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3社の入札金額に近いが。 ・本件を実施可能な業者数はどれ位か。 <p>業務 【指名競争入札方式】 《広（19）ユーティリティー（468）整備設備工事現場技術業務》 落札率：97.53% 応札者：4者（参加者：10者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場技術業務とは何か。 ・他の工事でも実施しているのか。 ・指名されているのに辞退者が多い。あまりに辞退者が多いと指名競争入札の制度自体がおかしくなる。 	<p>作成する図面枚数を指定している ので、業者の見積もり時のブレが 少なかったのかもしれない。</p> <p>設備を専門にしているAランク業者 になると、全国でも数が限られ ると思われる。</p> <p>施工監理業務である。監督官の補 助を行わせている。</p> <p>米軍工事については全て、自衛隊 工事についても殆ど予算化されて いる。</p> <p>制度上、事前に入札参加希望の有 無を確認できないので、発注側と しては、処置の仕様がないうち である。</p>
--	---	--

2. 談合疑義案件の処理状況について

談合疑義件数		0件	(審議概要)
工事	談合情報	0件	審議対象期間中に疑義案件はなし
	点検結果疑義	0件	
業務	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
委員からの 意見・質問 それに対する 回答等		意見・質問	回答
委員会による意見の具申又は勧告の内容			

3. 低入札事案について		
審議概要	・特になし	
委員からの 意見・質問 それに対する 回答等	意見・質問	回 答
	・調査基準価格とはなにか。 ・低入札の調査での辞退はあるのか。	低価格入札調査の対象とするか否かの基準価格である。 調査の結果ではなく、低落調査開始後に積算の誤りに気づき辞退したケースはある。
4. 不調事案について		
審議概要	・特になし	
委員からの 意見・質問 それに対する 回答等	意見・質問	回 答
	特になし	
5. 指名停止等の措置状況について		
審議概要	・指名停止等の状況を説明	
委員からの 意見・質問 それに対する 回答等	意見・質問	回 答
	特になし	